

ふな状た



発行：山形県舟形町議会
平成27年10月23日



7月臨時会・9月定例会概要・質疑応答……	2 P
決算審査特別委員会概要・監査意見書……	5 P
決算審査特別委員会質疑応答……	6 P
一般質問に4議員……	8 P
町民の声・人事案件・議会活動・請願……	12 P
えがったなあ・編集後記……	14 P



沖の原浄水場建設工事現場

第3回臨時会
7月16日
9月定例会
9月9日~17日

平成26年度決算を認定

総額66億3741万円

9月定例会は、9日から17日までの会期で開催され、4人の一般質問に続き、一般会計、特別会計補正予算等、全議案を原案通り賛成多数で可決しました。
26年度決算は、特別委員会を設置し、本会議において全員賛成で認定しました。

平成27年度 主な補正予算

- ・地域づくり支援事業…………… 400万円
(除雪機購入費補助金)
- ・防犯対策事業…………… 260万円
(防犯灯整備事業補助金)
- ・福祉医療給付事業…………… 150万円
(18歳まで医療費無料化)
- ・健康増進事業…………… 149万円
(健康ポイント制度事業等)
- ・鮎中間育成施設等増改築事業 2250万円
(管理棟・展示室等の増改築)
- ・商工振興総務事業…………… 280万円
(資格取得・起業支援補助金)
- ・道路維持事業…………… 980万円
(町道・道路附属物の維持修繕)
- ・町営住宅管理事業…………… 1377万円
(木友町営住宅の改修等)

質 答 応 疑

第3回臨時会

沖の原浄水場建設工事請負契約

【議員】沖の原浄水場建設工事の応札業者数と落札率は。
地域整備課長 応札業者は2社で、落札率は98・96%です。

堀内交流センターの設置及び管理に関する条例の廃止

【議員】交流センターを解体して、陵風会で特別養護老人ホームを整備する計画ですが、町としての支援は。
総務課長 交流センターの土地を無償提供する考えです。また、施設整備資金として光生園建設と同様の支援策を考えています。

9月定例会

平成27年度一般会計補正予算

【議員】町内の防犯灯LED化の補助事業は、今回の補正額ですべて対応できるのか。未実施町内の対応はどうするのか。
総務課長 今回の補正額で、今年度の申請分は対応可能です。今後の申請分については、財源を検討しながら対応していきます。

【議員】除雪機購入費補助金は、個人的な購入も対象になるのか。地域支え合い事業実施団体等への補助はどうなのか。
まちづくり課長 個人の購入も補助対象になり、10万円が上限です。自主防災組織や支援事業実施団体での購入は20万円と、格差をつけて対応します。

主な審議された議案 第3回臨時会

- ローター除雪車購入契約 3288万円
契約の相手(株)KCMJ山形営業所)
- 沖の原浄水場建設工事 1億270万円
契約の相手(丸充建設(株))
- 堀内交流センターの設置及び管理に関する条例の廃止
- 9月定例会
- 舟形町議会会議規則の一部を改正する規則の制定
- スクールバス購入契約(中型45人乗り) 1522万円
契約の相手(新庄もがみ農業協同組合)
- 情報公開審査委員の選任
- 平成26年度決算の認定



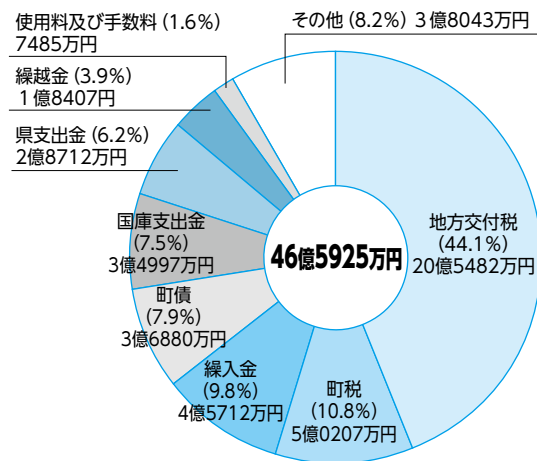
健康づくり教室(堀内)

【議員】健康ポイント制度の事業内容は。
税務福祉課長 町民の健康増進を目的にした事業です。税務福祉課が担当する定期健診または人間ドックなどを受診した際にポイントを付与し、健康グッズなどと交換できる制度です。来年度は様々な健康づくり事業も対象にします。

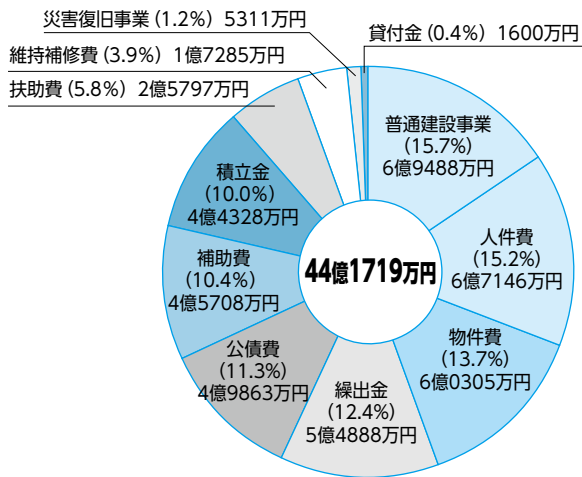
【議員】防災無線によるラジオ体操を中止した理由は。
税務福祉課長 防災無線の利用方法、放送時間帯の適否など総合的に判断し、放送は夏休み期間に限定することにしました。

一般会計

歳入 (46億5925万円)



歳出 (44億1719万円)



歳入歳出差引額 2億4206万円

歳出の抑制による財政の健全化を



佐藤 広幸 委員長

平成26年度決算審査は、会期中の9月14日から15日まで決算審査特別委員会を設置し、委員長に佐藤広幸（総務振興常任委員長）、副委員長に奥山謙三（文教民生常任委員長）を選任し、一般会計、6特別会計を慎重に審査しました。

決算審査特別委員会

特別会計

会計別	歳入額	歳出額
国民健康保険事業	7億9116万円	7億5160万円
後期高齢者医療事業	6534万円	6373万円
介護保険事業	7億4338万円	7億0422万円
簡易水道事業	2億9899万円	2億9036万円
農業集落排水事業	2億2040万円	2億1861万円
公共下水道事業	1億9666万円	1億9170万円
合計	23億1593万円	22億2022万円

監査意見書

星川 基代表監査委員

平成26年度の7会計の決算を審査しました。財政状況は年々改善されており、決算計数は誤りないものと認められました。

監査意見として、次の点を町長に提出しました。

(1) 町民税・固定資産税・国保税・水道使用料などの未収金は合計で6千万円近くにのぼります。納税義務を果たしている町民との公平性を確保するため、その解消に一層努力してください。

(2) ふるさと納税は、前年度比で76倍の1億8500万円となりました。創意工夫と努力を高く評価します。今後とも改善を続け、ゆるぎない自主財源として確立してください。

(3) 人件費は22年度比で9200万円の減少となり、行き届いた管理は評価できます。ただし、職員が持てる能力をフルに発揮し、意欲を持って仕事にあたる体制づくりがさらに必要であり、事務の効率化を進め、適正な体制をつくってください。

(4) 議会・監査委員のチェックと職員の日々の点検・見直しを連動させ、町民の納得が得られる舟形町行政を進めてください。



県営農地整備事業予定地（福寿野から馬形まで）

議員 子育て支援医療費の助成対象を18歳まで拡大し、医療費の無料化を実施することの、対象年齢のつえ方は。

議員 高等学校等に在学、就労されているすべての方が対象で、18歳に達する日以降の最初の3月31日までとなります。

議員 ほ場整備事業費で測量業務委託料1000万円減額の内容は。

地域整備課長 国庫交付金の採択延伸による事業費の減額です。今後とも採択に向け努力します。

議員 鮎中間管理育成施設等増設事業の内容と、資金計画はどうなっているのか。

産業振興課長 管理棟・展示室の改修・増築工事です。小国川漁協の事務所としても使用する計画です。資金計画は県補助金1000万円、町補助金651万円、小国川漁協負担金500万円となっています。

議員 道路新設改良費の用地購入費減額の内容は。

地域整備課長 舟形・一の関線歩道整備事業で、用地購入の前に測量・物件調査を優先する必要がありますことから、購入費を減額しました。

個人情報保護条例の一部改正

議員 マイナンバー制度の導入により、10月中旬以降、番号が記載された通知カードが郵送されたら、どうすればいいのか。

総務課長 個人番号が記載されているので大切に保管してください。来月1月以降、個人番号カードの申請をしていただき、そのカードは身分証明書として利用できます。また、申告時の電子申請などに使用することができます。



修繕中のスクリーンユニット

平成27年度公共下水道事業特別会計補正予算

議員 浄化センター管理費事業の修繕料1000万円補正計上されているが、場所と工事内容は。

地域整備課長 場所は舟形浄化センターで、昨年から3年計画で修繕を行なっている、スクリーンユニットの継続修繕事業です。

質 答 応 疑

一般会計

議員 リサイクルステーション管理報償費の内訳は。

税務福祉課長 町内にある101基のリサイクルステーションを、1基あたり6千円で各町内の衛生組合長に管理を委託しています。



新しく設置されたリサイクルステーション

議員 民生児童委員の活動範囲、負担が大きいため、なり手が少ない。報償費を増額するべきではないか。

税務福祉課長 県の委託金1人あたり5万8200円に、町で1万円加算しています。色々な会議、各町内会での相談業務や高齢者等の見守りなど、活動が多くなっているため、報償費のアップを検討していきたいと考えています。

議員 町営バス委託料766万円となっているが、利用状況と今後の改善策は。

まちづくり課長 バス利用者6413人で、事業収入は127万円であり、年々減少しています。今後無料化すると利用拡大につながるか、実証実験をして検討していきます。

議員 不法投棄防止対策事業について、当初予算より減額となっているが、この内容は。

税務福祉課長 春と秋に不法投棄のパトロールを行っており、その際に不法投棄があった場合には町で撤去するため、その処理料の予算を計上していましたが、26年度は該当する不法投棄がなかったため減額しました。

議員 ドクターヘリの着陸場所は何箇所か。また、休日の誘導体制はどうなっているのか。

総務課長 夏場は16箇所、冬期間は南支署と亀割バイパス駐車場の2箇所です。休日対応は、広域消防を退職した方をお願いしています。

議員 最上地域観光協議会負担金の内容は。

産業振興課長 8市町村が負担金を出し合っています。最上地域の観光資源や特産品をPRするために活用されており、ポスターやパンフレット作成等にも活用されています。

議員 町道福寿野岡矢場線道路測量設計業務委託の内容は。

地域整備課長 県道舟形大蔵線に接続するための概略設計です。27年度は、南支署の出勤がスムーズになるよう、県道幅員と同様の改良で申請しています。また、その先の町道福寿野・沖の原線を含め県道として認可していただくよう進めています。

議員 農事実行組合長の報酬を引き上げる考えは。

産業振興課長 今後、金額の見直し等について検討していきます。



今年も開催された「舟形の花嫁お見合い大作戦」(10/3~4)

議員 婚活事業で舟形町の方のカップルは何組誕生したのか。

まちづくり課長 6回開催されたイベントで、合計38組のカップルが誕生しました。そのうち舟形町からは15組のカップルが誕生しました。

議員 農と食による地域の魅力創造事業補助金の内容は。

産業振興課長 舟形ラズベリー会が事業主体となり、生産栽培の技術取得や商品開発への補助となっています。



十二河原地内のヘリポート

農業集落排水事業特別会計

議員 農業集落排水使用料の未納額が前年より増加している原因は。

地域整備課長 現年分は前年比で5万円減少しているが、滞納繰越分が20万円ほど多くなったのが原因です。

また、滞納者38人のうち、15人は現年分と滞納繰越分と重複している状況で、徴収についてはこれからも努力していきます。



実習館で開催された「音楽とワインのタベ」

議員 体験実習館は指定管理者に業務委託しているが、利用状況と運営状況はどのようになっているか。

産業振興課長 年々利用者数が減少し、利用料金も減少傾向にあります。今後も民間活力を利用し、利用料の増収と利用者の拡大を目指すよう、委託先に申し入れを行います。

議員 旧富長小の加工施設は、今後も継続して舟形町振興公社に委託するのか。

産業振興課長 加工施設については、引き続き振興公社で運営していただき、収支が計られるよう指導していきます。



奥山 謙三 議員

協働のまちづくり条例の制定を 条例制定は効果的であり必要である

【質問】 町民と町、または町民同士が、協働してまちづくりを進めるためのルールを示すものとして協働のまちづくり条例を制定すべきであると思います。奥山町長の考えを伺います。

【町長】 協働のまちづくり条例は、協働のまちづくりを進めるためのルールであると理解しています。今後、ますます重要となる協働のまちづくりを発展させるためには、条例制定は効果的であり必要であると思います。協働のまちづくりについて住民の理解を得ながら進めることがたいへん重要であると考えるところから、この事業は来年度から段階を踏んで進めていきたいと思います。

共助による活動であると考えています。
①町では地域支え合い除排雪活動事業について、内容の充実と利用町内会の拡大をどのように進めるのか。
②車道部へ搬出した民地の雪を、町道部の雪と一緒に除去する「官民協働除排雪事業」の実施について検討すべきであると思います。
奥山町長の考えを伺います。



除雪ボランティアの方々による活動

※一般質問とは：定例会において、議員が町の施策や方針などについて、報告、説明を求めたり質問・政策提言をすることです。



協働のまちづくりを進めるための意見交換会（西堀地区）

【町長】 今年度は、個人の除雪機械購入に対する補助金の創設により、支え合い除雪機械を増やして、高齢者世帯除雪サービスの拡充を行いたいと考えています。
地域支え合い除排雪の利用町内会拡大について

【質問】 今後育成していかなければならないのは、

は、降雪前に町内会長会議を開催し、雪課題の軽減のために活用いただけるようPRしていきたいと思っています。
「官民協働除排雪事業」の実施については、地域の中で十分な話し合いと役割分担を行なう、

実施したい町内会があれば、どの区域が実施可能な区域か相談に応じたいと思います。
こうした事業があることについて、町内会長を通じて周知していきたいと考えています。

平成27年10月号



齋藤 好彦 議員

売る力を伸ばす雇用創出プランを 関係機関と連携し雇用確保をめざす

【質問】 最上地域は、他の地域に比べ人口減少や、若者・女性の流出が著しいため、人口減少に立ち向かう、最上地域の産業ポテンシャルを引き出すための「実践型雇用創出プラン」が必要であり、これまで蓄積したノウハウを活用し、農林水産物等

流通分野の販売力を伸ばすための雇用創出プランを考える必要があります。町長の考えを伺います。

実践型地域雇用創造事業」を実施し、農林水産物等販売力強化事業（特産物等販路拡大推進事業）に取り組んでいきます。
また、平成27年4月に設立しました最上小国川清流未来振興機構で策定された、最上小国川流域の基本目標とキャッチフレーズの実現と雇用の確保を図るために、県・舟形町・最上町・小国川漁業協同組合に加えて最上地域雇用創造推進協議会と連携して地域振興の推進、雇用の確保にも結びつけたいものと考えています。



人気が高い舟形産米

【町長】 最上地域において、人口減少のほか、雇用情勢においても県内で最も厳しい状況にあるため、平成27年度から「実践型地域雇用創造事業」

ど独自のブランド名を印刷し活用すれば、町のPRになり産業振興、交流人口の増加に結び付くものと思います。町長の考えを伺います。

する必要があると思います。舟形の自然豊かな町のイメージをデザインしたパッケージで提供しています。
今年1月からは、所得税と個人住民税控除枠が2倍に拡大され、4月からの給与所得者の寄付については、確定申告を行わなくても寄付控除が受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」が創設されたことから、さらなる拡大をめざして町の活性化につなげたいと考えています。



販売力の強化が期待される加工施設

【質問】 本町のふるさと納税の返礼品が好評で寄付金の額も年々増加傾向にあります。本町の返礼品で人気が高い米のパッケージに「ふながたの米」とか「縄文の女神米」とか「清流小国川の米」な

【町長】 ふるさと納税の増加の最大の理由は、返礼品の魅力であると思えます。主力の米を伸ばすためには、他の多くの自治体の米との差別化を図り、舟形産の米を選んでいただく必要があります。良質でおいしい舟形産米と舟形町の特色をアピール

平成27年10月号



伊藤 欽一 議員

住みよいまちづくりの施策を問う

小型ロータリの増車を検討



幅の狭い道路除雪で活躍する小型ロータリ除雪車

【質問】 第六次舟形町総合発展計画の基本計画の中で、防犯・交通安全対策に関しては、集落内防犯灯のLED化が整備中で、町民の安心度も高くなっていると思われず、豪雪・利雪ですが、豪雪地帯の町道除雪は他市町村と比較してもたいへ

ん良好との声が多く聞かれます。しかし、町道規格にない生活道路のような狭い道路除雪を小型ロータリ車一台で行なっていますが、高齢化が進む中、年々需要が多くなっていると思えます。増車を含め、町長の考えをお伺いします。

【町長】 冬期間における生活基盤の整備と地域産業や経済活動を守るため、主要幹線道路の積雪による交通障害を解消し、安心、安全で快適な住民生活の確保を目的とし、一定の基準を設けて除雪道路を決めております。町道以外で、除排雪に不便をきたしている個人や町内会を対象にした「地域支え合い除排雪事業」や「宅配・出張サービス事業」など、地域での除排雪を支援しております。各町内会と協議を重ね、

共助体制を更に充実しているような支援に今後とも力をいれると共に、小型ロータリ車の増車も検討したいと考えています。

【質問】 都市部でない舟形町の自然環境などを活かした自然体験学習受け入れや、交流事業を促進し

る観点から、観光客受け入れ協議会を設置

を問う



五橋中の生徒による体験学習 田の稲刈り

【町長】 交流人口拡大の基礎となる誘客活動では、観光情報のネット配信やパンフレットによるPR活動、農産物の販売などによる宣伝活動を行なっています。昨年度は24万

人の観光客が当町に訪れておりますが、受け入れ側である町の状況を見た場合、人材の確保や育成の問題は否めないところがあります。観光客に対応できる人材バンクの確保や、受け入れ組織の整備が必要となっております。今後、観光客の受け入れをする方策を考える協議会を設置する等の対策が必要と考えます。



石山 和春 議員

堀内交流センターの跡地利用を問う

最上圏域が入所対象の特養施設を整備



解体が進む堀内交流センター

【質問】 特別養護老人ホームを整備する計画のため堀内交流センターの解体が承認されました。人口減少、少子化で、看護師はもとより、介護福祉士も不足し、各施設では確保にたいへん苦慮しています。雇用の創出

と、待機者の解消が開所の目的だと思えますが、現在、舟形町の待機者は90名程度、そのうち入所要件該当者（介護度3以上）は半数の40名程度となっています。

今年4月より、介護報酬の引き下げにより、一事業所あたり平均1500万円の減収の見通しと

言われています。このような状況から、施設間で利用者、そして介護職員の争奪戦にならないのか、また、互いに経営が立ち行かなくな

らないのか、その見通しについて質問します。

【町長】 新たな特別養護老人ホームが整備されることとなった件につきまして、これまで取り組んできました「ふるさと特養整備」を踏まえて、徳洲会グループである、社会福祉法人陵風会が事業主体となった経緯があります。

この度の特養施設整備計画では、最上圏域を入所対象と見込んでいます。特養への入所申込状況でありませんが、最上地域全体では587名、うち介護度3以上が382名となつています。

また、施設経営については、運営の面で相当に厳しい実態となっていることであると思えます。処遇改善のため、県全体で検討すべきと考えています。



最終段階にある解体作業

堀内地区への説明ですが、ふるさと特養整備を進める中、各町内会での意見交換会で議題としてはありませんが、ご報告いたします。近く、施設事業の素案も出来てくると思えますので、まもなく事業概要についてご

説明できると思えます。舟和会との事前調整ですが、状況報告はなされていると思えますが、事前調整までには至っていません。機会を伺えてお話ししたいと考えています。

声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお待ちしております。

少子高齢化について

わが舟形町の人口は約5780人、65歳以上が約2010人、20歳以下が約850人と聞いております。他の市町村と変わらざ子ども数が少なく、今は財政的にも厳しい時代が来ると察します。

現在、舟形町では中学生以下医療費無料、子育て支援住宅など素晴らしい支援があり、ありがたく感じます。しかしながら、足りない何かがあると感じます。

子ども達が、この素晴らしい舟形町を、住みたい町、子育てしたい町、と思えるようなまちづくり事業を行なっているわけですが、それらが今後の舟形町や子ども達の将来に結びついていくのか、不安や疑問を感じているのも事実です。

進学などで町外に出た子ども達が舟形町で生涯を終えたいと考えてもらえるような政策を、今以上に考えていただきたいと考えます。一人の親として、一町民として、私自身も微力ながら協力したいと思っております。

議員の皆さん、よろしくお願いいたします。



大場 清志 さん
(長沢第1)

総務振興常任委員会

1 期 日 平成27年7月8日(水)

2 調査内容(27年度の主な事業)

- (1) 総務課
 - ①集落内防犯灯LED化事業 (95%の補助)
 - ②堀内交流センターの解体事業 (降雪期前まで完了予定)
- (2) まちづくり課
 - ①定住推進関連事業
 - (舟形版「お見合い大作戦」の実施)
 - ②ふるさとづくり応援事業 (ふるさと納税の充実)
- (3) 産業振興課
 - ①舟形町戦略的園芸産地拡大事業 (ニラ・ネギ・果樹等の機械整備)
 - ②強い水産業づくり交付金事業 (鮎中間育成施設、鮭ふ化場整備)
- (4) 地域整備課
 - ①道路・交通網の整備事業 (社会資本総合整備事業)
 - ②克雪・利雪のまちづくり事業 (除雪対策事業)
 - ③農業振興事業 (農地整備計画設計事業)

3 所 感

事業も進捗していないため、今後、現地調査などを行い事業効果、成果等について調査したい。

情報公開審査会委員の

選任に同意



大場美佐子 氏
長沢第1 (64歳)



齋藤 淳一 氏
舟形第3 (61歳)



早坂みつ子 氏
富田第1 (60歳)

任期は
平成27年10月1日より
平成31年9月30日まで

※情報公開審査会委員とは

情報公開の決定について不服等がある場合に、委員の方々より、第三者的立場から審査を行なっていただきます。

文教民生常任委員会

1 期 日 平成27年6月30日(火)

2 調査内容

- (1) 税務福祉課
 - ①町の保健福祉サービス (平成27年度版)
 - ②子ども・子育て支援事業計画 (平成27年度～31年度)
 - ③第6期介護保険事業計画
- (2) 教育委員会
 - ①「食育指導」「地域学習」「体験(かわり)学習」
 - ②保小中一貫教育の進捗状況
 - ③子ども読書活動推進計画
 - ④舟形町いじめ防止基本方針
- (3) 視察
 - ①舟形小学校食農教育ほ場
 - ②西ノ前遺跡地 縄文の女神公園

3 所 感

保健福祉サービス内容、計画等について、町民に周知し理解を深めてもらい、その達成に努力されるよう要望します。

教育関係については、教育委員会・学校・保護者・地域が一体となり育んでいくものと考えているので、関係者、各団体等の意思疎通を図り進めてください。特に食農教育について、現在のほ場では手狭と感じます。指導については地元農家の方にお話し、農業への関心が高まるような進め方を検討されるよう要望します。

議員としての決意を新たに

新議員研修会(8月28日)

山形市にある県自治会館において開催された研修会に、4月の選挙で議員となった3名が当議会より参加しました。

「新議員のための議会制度・会議規則解説」と題し、北海道町村議会議長会参与の勢籠了三氏の講演があり、議員として活動していくうえで基本となる制度や規則について、詳しく説明を受けました。今後の議会活動に活かしていきます。



平成27年10月号

請 願

9月定例会で審査した請願は次のとおりです。

●「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請」についての請願

採 択
請願者 山形県教職員組合最上地区支部 支部長 伊藤 充弘

●経壇原水利組合管轄の農道に関する請願

請願者 経壇原水利組合 組合長 沼澤 清明
継続 審査
(有)舟形マッシュルーム 代表取締役 長澤 光芳

意見書

次の意見書を政府、関係機関に提出しました。

●教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書(要旨)

一人ひとりの子どもたちへのきめ細やかな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、計画的な教職員定数改善が必要である。自治体が見通しを持って安定的に教職員を配置するためには、国段階で定数改善計画の策定をすること、また教育の機会均等と水準の維持向上のためには財源の保障をすることが、必要不可欠であるため、国及び政府に対し強く要望する。



シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さんをご紹介します。

えが ったなあ



□どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？

2013年11月に放映された、もてナイ『舟形の花嫁・お見合い大作戦！』が縁で旦那と出会いました。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？

自然豊かで空気も澄んでいて、食べ物もおいしいです。

□舟形町での生活はどうですか？

舟形町に嫁いで来てまだ1年もたっていないけれど、町民の皆様や近所の皆様にとっても親切にしてください、とても幸せです。

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか？

自然豊かで静かでもとも住みやすいし、近くに温泉やコテージもあって、とても良いと思います。近くにスーパーがあれば良かったかな〜って思います。

□舟形町に望むことはありますか？

子どもが居なくても新婚で喜ぶせる賃貸住宅があればいいと思います。

舟形町に嫁いで来たお嫁さんです。
今回は、大阪府枚方市から嫁いで来た齊藤宏美(旧姓郡戸)さんです。

皆さんよろしくお願いします。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)
舟形町役場議会事務局
TEL 0233-32-2111(代)

表紙のこぼれ

ガンバレー、ガンバレーと大きな声援のなか、一生懸命にゴールをめざして頑張る園児たちの様子です。

前日までの雨でグラウンドでの開催が心配されましたが、園児たちのやる気とご家族の熱意により、晴天のもと「ほほえみ保育園大運動会」が開催されました。

元気いっぱい走り、大きな声でお友達を応援する園児と心配そうに見つめる先生、そしてカメラを構え声援を送るご家族が一体となった、素晴らしい大運動会でした。

編集後記

安保関連法案が強行採決されてから1カ月が経過しましたが、これまで政治に無関心の方が多かった若者・女性が行動を起こしたことは喜ばしいことであり、一過性で終わって欲しくないものと思います。

今年も、ゲリラ豪雨・地震・火山噴火等による災害が全国で起きています。幸い当町では甚大な被害は発生していません。これから降雪期を迎えますが、雪の問題を助け合い支え合い活動により解決し、素晴らしく住みやすい町にしていきたい。議会広報の目的である、正確に伝える、町民との双方向の関係の構築、開かれた議会を進める、これらのことが果たされているのか、自問自答しながら紙面づくりを進めています。
ご意見よろしくお願いします。
(奥山 謙二記)

次回の定例会は

12月8日(火)~16日(水)

までの予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています。

お問い合わせ先

議会事務局 ☎ 32-2111(代)

発行責任者

議長 八 鍬 太
議会広報常任委員会
委員長 斎藤 好彦
副委員長 奥山 謙三
委員 佐藤 勇春
委員 石山 和文
委員 小国 浩一
委員 伊藤 欽